

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮坂新金岡4丁5番第3期高層ビル	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番2	構造	RC造
用途地域	第二種高度地区、下水道処理区域	平均居住人員	296 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年1月14日
敷地面積	4,556 m ²	作成者	遠藤禎典
建築面積	557 m ²	確認日	2021年1月14日
延床面積	5,315 m ²	確認者	遠藤禎典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 まちなみ景観として、団地としての統一感のある沿道景観を形成するデザインを検討します。 隣接して2期工事が完成していることから、特に2期との連続性に配慮します。 設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口を設けます。		その他 0
Q1 室内環境 ・戸境壁 コンクリート壁厚200以上 ・建材はF☆☆☆☆ ・幅広サッシ採用	Q2 サービス性能 ・将来のプラン変更等に対応して、設備配管のスリーブを事前に設けます。 ・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。	Q3 室外環境 (敷地内) ・外構の緑化率を15%以上とします。
LR1 エネルギー ・共用部にLED照明器具を採用します。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。 ・再生砕石を使用します。	LR3 敷地外環境 ・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府堺市新金岡4丁5番第3期高層住宅(建て替え)新築工事 G棟	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番2の一部	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 5,314.97 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	3	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		4.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		3.0
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.4	4	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0	3	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		4.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	